



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4217 号 2018.2.18 発行

なぜ日本は「発達障害大国」なのか 国別統計で常にトップレベルの理由 (1/6 ページ)



Sankeibiz 2018年2月17日

天才と呼ばれる人は「発達障害」の傾向を指摘されることがある。海外ではエジソン、アインシュタイン、ビル・ゲイツ、スティーブ・ジョブズ。国内では楽天の三木谷浩史氏も ADHD の傾向があることを明かしている。その「特性」を活かすにはどうすればいいのか。2人の専門家に聞いたー。

画像はイメージです(Getty Images)

“10人に1人”大人の発達障害の謎

20代半ばの会社員 Aさんは、昔から「空気が読めない」といわれてきた。先日も会議に遅れてきた部長に、「部長、3分の遅刻ですよ」と事実を伝えたところ嫌な顔をされた。上司に「頭を冷やせ!」といわれ、水道水で頭を冷やして唾然とされたこともある。いつも一生懸命やっているのに、なぜか叱られることが多いと感じている。

一方、30代女性の事務職員 Bさんは、ケアレスミスが多いのが悩みだ。会議の日時を間違えたり、金額の記入を間違えたりはしょっちゅうだ。人の話を聞きながらメモを取ることや、話を要約するのも苦手で複雑な内容はメールで送ってもらうようにしている。

頭はいいのだが、どこか行動が奇妙でちぐはぐ。感情や意思の疎通がスムーズにいかない、本人も努力しているようだが直らない。そんな悩みを職場で抱える人が増えている。

近年「大人の発達障害」に関心が高まっている。これまで子どもの問題と思われがちだった発達障害が、実は大人の問題でもあり、職場や家庭で起きるトラブルの原因の1つとしてクローズアップされているのだ。

日本で発達障害者支援法が施行されたのは、2005年のこと。以来、子どもに対しては、乳幼児検診で早期発見、早期療育、早期支援が謳われてきたが、現在すでに大人である層は、その社会的ケアからこぼれ落ちて成長してきた世代だ。重度の自閉症や知的な遅れを伴う場合は比較的早く発見され、医療や支援に結びつく機会も多い。一方、知的に遅れない場合は本人の性格や個性と捉えられ医療までたどり着かないケースもある。

しかし、学生時代までは目立った問題はなくても、就職を機に、その特性を原因とするトラブルが発生することがある。「本人の努力不足」や「家庭のしつけの問題」「上司のマネジメントの不備」ではなく、発達障害の視点からのアプローチをすることでトラブル解決の糸口が見えてくることもある。日本人の10人に1人は発達障害の傾向がある。そんな指摘をする専門家もいる。大人の発達障害の問題点や、課題を探ってみよう。

▼「大人の発達障害」職場だと...

Tさん●20代男性●会社員

高学歴で各種スキルや語学力は高いものの、相手の意図するところを理解するのが苦手。新入社員の頃「わからないことがあれば、いつでも聞きにこいよ」といつてくれた上司がおり、その上司が出席中の会議の席に「部長、わからないことがあるのですが」と聞きに

行き、周囲を唾然とさせたこともある。「資料をつくってくれ」「臨機応変に対応しろ」など、あいまいな指示がわからず、上司から叱責されることもしばしば。自分の正当性を伝えようとするも「言い訳」「反論」と捉えられ、ストレスからうつ病に。診療科でうつ病の治療と同時に、心理検査や知能検査を受け ASD であることが判明。

F さん●30 代男性●SE

国立の大学院卒業後、大手情報系サービス企業に就職。昔から「理屈っぽい」と評されるも、論理的で完璧主義的な性格は SE として最適、上司からも「真面目で正確」と高く評価される。しかし、月 200 時間の残業が続いたプロジェクトが完成した直後から、心身ともに疲労感を強く感じ出社できなくなる。診療科では「適応障害」と診断。詳細な検査を受けると、ASD や ADHD の診断は下りなかったが、その傾向は強く「ハイコントラスト知覚特性」があることが判明。まったく疲れを感じないか、突然体が動かなくなるほど疲れるかといった極端な知覚を持っていた。

K さん●30 代女性●国家公務員

昔から得意なのは理数系で、読書感想文は苦手。ストレスや疲れがたまると上下関係を配慮できず、上司に「そんなこともわからないんですか」といってしまったことも。中学、高校と不登校を経験しつつも、国家公務員として就職。整理整頓を重視するあまり、自分の机には“マイテプラ”も常備してある。職場では理解ある上司に恵まれ、得意な数学的知識も活かせる仕事に就いている。しかし、日常の「変化」に弱く、上司が配置換えで隣の列に移動した際は、パニックになり泣き出してしまった。海外赴任や流産などを機にうつ病を発症。「うっすらと ASD と ADHD」と診断される。

病気ではないので「治す」ものではない

官公庁や大企業が集まる東京の一等地、虎ノ門に「大人の発達障害外来」の看板を掲げるクリニックがある。「メディカルケア虎ノ門」だ。03 年に五十嵐良雄医院長により開設され、うつ病や適応障害などの職場の精神的ケアに力を入れてきた。一般外来のほかにもわざわざ「大人の」と銘打ち発達障害外来を掲げた理由を五十嵐院長はこう語る。

「うつ病などのために仕事を休職し、当院で復職のためのプログラムに参加している方の約 3 割は、実は発達障害が根っこに潜む。その場合、仮にうつ病を治しても根本的な問題は残ったままで、またすぐに職場で問題が生じてしまうため、うつ病の治療と並行して発達障害専門のケアが必要になるんです」

現在、日本で発達障害を診断できるクリニックや医師はまだ少なく、しかもそのほとんどは子どもが対象だ。同じ発達障害でも、子どもと大人では診断方法やその後のケアも大きく異なり、大人に特化した発達障害外来の必要性を強く感じたという。

このクリニックでは、診断後の治療プログラムも充実している。月 1 回土曜日に 3 時間かけて行われるレクチャーには、多いときで 80 名ほどの参加者が集まる。発達障害に特化したプログラムも人気だ。半年から 1 年をかけて行う復職支援プログラムで

は、他者とのコミュニケーションにおいて起こりがちな「職場トラブル」をテーマにロールプレーを行うなど、復職に向けての具体的なアプローチに取り組んでいる。

「発達障害の場合は基本的に薬はなく、あったとしても ADHD（注意欠如・多動性障害）用に 2 種だけ。そもそも発達障害は病気ではないので、『治す』ものではない。自らの特性を理解して得意な部分は伸ばし、苦手な分野は工夫して補えるよう練習していくしか方法はないのです」（五十嵐氏）

▼それぞれの特徴

3種の発達障害は
重なり合う



発達障害の主な3タイプ

ASD：自閉スペクトラム症

コミュニケーションや対人関係、想像力のかたより。パターン化した興味や活動など。

- 空気を読むことが苦手、言葉の比喩や裏の意味がわからない。
- 人との距離感が独特で、一方的だったり、拒絶的だったりする。
- 好きなテーマを語りだすと止まらない、人の話を聞くのが苦手。
- 過去のことはよく覚えているが、未来を想像し予定を立てるのが苦手。
- 時に過去の嫌な出来事がフラッシュバックして情緒不安定になる。
- 視覚、聴覚などの感覚が過敏。
- 同時に複数のことを処理することが苦手。
- 他者視点に立って考えることが苦手。

ADHD：注意欠如・多動性障害

多動的、衝動的、不注意。

- 常に動き回ったり思考がせわしない。
- 思い立ったことをすぐにやりたくなる。
- 忘れ物やミスが多い。
- 部屋が片づけられない。

SLD：限局性学習障害

知的な遅れや視覚や聴覚などに問題はないが、「読む」「書く」「聞く」「話す」「計算・推論」などの学習分野において著しい困難を有する。「読字障害（ディスレクシア）」や、「書字表出障害（ディスグラフィア）」「算数障害（ディスカリキュリア）」などが代表的。

高学歴にはグレーゾーンの発達障害が多い？

虎ノ門という場所柄もあり、来院者は極めて高学歴、かつ有名企業や官公庁に勤める人も多い。受診条件は「以前に発達障害の診断を受けていないこと」であるため、発達障害でも極めて軽微ないわゆる「グレーゾーン」である人がほとんどだ。

そういった人は発達障害が軽微でも高学歴なために周囲から期待され「東京大学を出るほど秀才なのに、こんな簡単なこともできないのか」と高いハードルを設けられてしまう場合も。発達障害の特徴である「こだわりの強さ」や「好きなことは極端に集中する」側面を活かして優秀な学業を修めてきたが、就職や管理職への昇進などのタイミングで不得手な分野が浮き彫りになる例がある。ある優秀な経理マンは昇進で管理職になった瞬間、うまくいかなくなったという。部下から上層部にクレームが入り、心を病んだケースも。

「もっとも受診者の多くは、発達障害の特徴を知れば、論理的に自己分析をして真面目にプログラムに取り組みますよ。プログラムを経て復職していく人々は約9割ほどです」(五十嵐氏)

▼ASDとADHD、得意・不得意分野

ASD：自閉スペクトラム症

得意な仕事例

- ・規則性、計画性、深い専門性が求められる設計士や研究者
- ・緻密で集中力を要するSEやプログラミング
- ・膨大なデータを扱う財務や経理、法務

不得意な仕事例

- ・顧客ごとの個別対応や、計画が随時変更していく作業
- ・対話中心の仕事や、上司からのあいまいな指示

ADHD：注意欠如・多動性障害

得意な仕事例

- ・自主的に動き回る営業職
- ・ひらめきや企画力、行動力が求められる企画開発、デザイナー、経営者、アーティスト

不得意な仕事例

- ・緻密なデータや細かいスケジュールなどの管理
- ・長期的な計画を立て、じっくり進める仕事
- ・行動力より忍耐力が必要とされる作業

発達「障害」ではなく、発達の「ずれ」

発達障害は、先天的な脳の機能障害である。遺伝的、環境的な要因などが複雑に絡み合っていると考えられているが、実はその全貌は明らかになっていない。かつては愛情の薄い「冷蔵庫マザー」に育てられた子が自閉症になると考えられていたが、いまは親のしつけは原因と関係ないとされている。

信州大学病院診療教授の本田秀夫氏は「『障害』という言葉で誤解を招いている側面もある」と説明する。

「Neurodevelopmental Disorders。これが現在の発達障害の英語表記です。つまり直訳すると『神経発達のずれ』。これまで人間は誰もが定型の曲線を描いて発達していくと考えられてきたのが、どうやら人それぞれ発達のスピードは異なり、かつ能力のすべてが平行に成長していくわけでもないということがわかってきたんです。発達障害は、決して発達しないわけではなく、発達の仕方が独特で定型発達の秩序からは外れているということです」

「Disorder」という言葉が精神医学で初めて使われたとき、専門家たちはどう日本語訳するか悩んだという。いま、日本の医学界では「神経発達症」と呼ぶよう提唱している。「障害」ではなく「症」であることが重要で、たとえば『自閉スペクトラム障害』ではなく、『自閉スペクトラム症』が学界の推奨する呼び方だ。

ではなぜ世間で「発達障害」の呼び名が一般的なのか。1つには社会概念としてすでに定着しており「発達障害者支援法」や「発達障害者支援センター」など行政用語として使われていること、また実際にその特性が原因で著しく日常生活に支障をきたす場合、障害として認定されることで、障害者雇用枠で採用されるなどの実態もあるからだ。

発達障害の「カツオ君」は優秀な営業マン

一方、本田氏は発達障害のプラス面も強調する。「発達障害というよくないイメージばかりが先行していますが、本来は必ずしも悪いものといえないんです。たとえば多動・衝動性が強いADHDの代表的な例としては、『サザエさん』に出てくるカツオ君を思い出してください。おっちょこちょいで思いついたことはすぐに行動に移してお父さんに怒られる。でも、彼がもし営業職などに就いたら、活動的で明るくて、どこか憎めないキャラとして愛されるかもしれません。忘れ物やミスはあっても、さりげなく周囲がフォローしてくれたりして。でももし経理などに就いたら、ミスだらけで怒られる毎日が続くかもしれません」。

努力できること、できないことの差が極端なため、職業選びは大切だ。日本企業が新卒者に求める一番のスキルは「コミュニケーション能力」との調査結果（図）もあり、これは発達障害のASD（自閉スペクトラム症）には苦手分野といえる。

「実はかくいう僕もADHDとASDの特性があります。予定を立てるのも苦手だし、夢中になると寝食を忘れてのめりこんでしまう。職業を間違っていたら、確実にダメだったでしょうね。でも医者や研究者のほとんどはASDタイプです。こだわりの強さが強みにつながった例です」（本田氏）



なぜ日本は「発達障害大国」なのか

「発達障害を考えると、思い出してもらいたいのは童話の『みにくいアヒルの子』です。白鳥なのにアヒルの群れに入ってしまった、それが発達障害の人が置かれた状況。どんなに頑張っても白鳥はアヒルにはなれません。『努力してアヒルになれ』と叱咤激励しても、アヒルのように鳴けず、結局、白鳥の子は白鳥にしか育ちません。白鳥には白鳥だけができることがあるはずで、その得意な分野を活かしていけばいいんです。僕は一当事者としても、声を大にしてこういいたい。『発達障害ライフを楽しもう』と」(本田氏)

アップル創業者のスティーブ・ジョブズ、マイクロソフトのビル・ゲイツなど、実際に、その特性を強みにしてビジネスに発展させた人物には枚挙にいとまがない。楽天の三木谷浩史氏も自ら ADHD の傾向を持つと語っている。ジョン・F・ケネディ米元大統領、坂本龍馬やエジソン、アインシュタインなども発達障害の傾向を指摘されている。発達障害＝天才であるわけではないが、その特性を活かさなければ彼らの成功はなかったはずだ。

実は日本は発達障害大国でもある。本来なら人種で差が出るものではないが、なぜか国ごとに統計を取ると常にトップレベルで数が多いという。

「文化の差があるかもしれませんが。同じ ADHD や ASD でも、ほかの国では許容されるレベルが、日本では問題視されてしまう。日本は国家レベルで空気を読むことを国民に求める風潮があり、人々は互いに完璧を求めすぎているように思います」(同)

いつの時代も一定数、発達障害は存在した。かつてなら社会に溶け込み、あるいは「変人だけ面白い」と受け入れられてきた特質が許容されない社会になってきたことが、昨今の「発達障害」の知名度の上昇に一役買っているのかもしれない。

利益を追求する企業で、個人のケアをどこまですべきかという問題はあるが、個人の努力と同時に、社会の側も知識を持つことでトラブルを減らし、新たな成果に結びつく可能性があるのでないだろうか。

五十嵐良雄 (いがらし・よしお)

1976年、北海道大医学部卒。ミラノ大(イタリア)やユトレヒト大(オランダ)に留学した。医療法人全和会秩父中央病院長などを経て2003年に職場の「うつ」などが専門のメディカルケア虎ノ門を開設。

本田秀夫 (ほんだ・ひでお)

1988年、東京大学医学部卒。山梨県立こころの発達総合支援センター所長を経て2014年信州大医学部附属病院子どものこころ診療部診療教授に。乳幼児から成人まで幅広い世代の発達障害の診療経験が豊富。

(フリーランスライター 三浦 愛美 撮影=鈴木聖也、奥谷 仁 写真=iStock.com)
(PRESIDENT Online)

新キャンパス候補に森之宮...府大・市大統合計画

読売新聞 2018年02月17日

大阪府立大学と大阪市立大学の統合計画で、吉村洋文市長は16日、統合が実現した場合の新キャンパスとして、森之宮地区の市有地(城東区、約10万8500平方メートル)を検討する考えを明らかにした。

森之宮地区には、2013年に閉鎖された市のごみ焼却工場の跡地など約3万8500平方メートルの未利用地が存在。隣接地に市営地下鉄の検車場(約7万平方メートル)もあり、市は検車場の移転を前提に、一帯の活用法を模索してきた。

吉村市長はこの日の市議会委員会で、両大学の一部学部を市中心部に集約化する必要性を強調。新キャンパスについて「森之宮地域が非常に有力な土地の一つだ」と述べた。産学連携の研究施設など一部機能を梅田地区(北区)に置く考えも示し、「既存の市立大阿倍



野キャンパスと合わせ、JR大阪環状線でキャンパス間を短時間で移動でき、連携が図れる」と説明した。

障害を超える夢、形に 3Dプリンターで補助具

琉球新報 2018年2月17日



3Dプリンターで製作した補助器具を持つ三野晃一さん＝高松市内で

◇「障害者・高齢者3Dプリンタ・ファクトリー」製作始める

日常の不便さを改善するグッズを自分で作ろう。障害者らでつくる一般社団法人「障害者・高齢者3Dプリンタ・ファクトリー」（高松市）が、3Dプリンターを使ってハンディキャップのある人の暮らしを助ける補助器具の製作を始めた。将来は障害者の収入にもつなげたいと考える代表の三野（さんの）晃一さん（60）は「障害者が100人いれば100人が異なる不便さを抱える。ちょっとしたアイデアで、バリアー（障害）をバリュー（価値）に変えていきたい」と話す。

三野さんは2014年から、当時勤めていた障害者就労支援事業所でクラウドファンディングを使い資金を集め、地元の養護学校で出た要望などを基にプラスチック樹脂でグッズ製作を始めたという。その後、昨年10月、障害を持つ仲間を中心に約10人でファクトリーを設立した。

これまでに、「電動車椅子のレバーが押しにくい」という女子中学生の声を受け、少しの力でも押しやすい指型の補助器具を製作した。また、手が不自由な人のために、水筒を机に置いたまま飲める固定台や、歩行器をつかむ時のストッパーも作り出した。

3Dプリンターは立体的なものを簡単に作れ、臓器を模型として再現するなど医療現場での活用が進む。一方、福祉分野では採算が取れず、企業はなかなか進出できないのが現状という。

ファクトリーは、要望があれば福祉施設に出向き、3Dプリンターの使い方も教えるなど普及に努めている。将来的には、インターネット上で依頼を受けて個人に合ったグッズを作って販売する「障害者による障害者のためのオンライン型共同受注センター」を目指す。【山口桂子】

スペイン人画家と障害者支援施設利用者 宍道湖の絵 共同制作

山陰中央新報 2018年2月17日

利用者らが見守る中、絵を描くピラル・テリさん（左から2人目）とフランシスコ・ボッシュさん（同3人目）

松江市玉湯町玉造の障害者支援施設「まがたま」の創立30周年を記念した絵画展が開かれるのを前に16日、スペイン人画家2人が同施設を訪れ、宍道湖の風景を題材した作品を施設利用者らと共同で制作した。世界に一つの大作が仕上がると笑顔の輪が広がった。

訪れたのはパステル画を手掛けるフランシスコ・ボッシュさん（69）と、アクリル画を扱うピラル・テリさん（67）夫妻。日本国内で障害者団体と絵画展を開く民間会社の紹介でボッシュさんを知り、画風に引かれた施設職員が来松を打診した。

共同制作した作品は「ふるさと大好き」。利用者16人と職員8人が、パン作りで出た1



40個分の卵の殻をアクリル絵の具で色付けして砕き、貼り合わせて縦1.2メートル、横1.8メートルのモザイク画にした。コスモスが咲き誇る中、宍道湖を背景に走る豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風（みずかぜ）」を表現し、約3カ月半かけて完成させた。

この日はボッシュさんとテリさんが施設を訪ね、宍道湖で遊ぶカモをアクリル絵の具で描き加えた。2人が作業を終えると、見守った利用者ら50人はスペイン語で「ムチャス・グラシアス（本当にありがとう）」と大きな声で感謝の意を伝えた。

制作に携わった施設職員の松本啓介さん（36）は「みんなの思いが一つの作品になってうれしい」と喜び、夫妻は「時間をかけた作品に手を加えるのはしのびなかったが、優しい雰囲気仕上がったと思う」と笑顔で話した。

共同制作した作品は17日から19日まで、松江市殿町の県民会館である、施設の創立30周年を記念した「現代国際巨匠絵画展」で、夫妻の作品などと合わせて展示する。入場無料。

「自閉症」正しい知識の普及促進 本宮で3月30日から啓発デー

福島民友 2018年02月17日

本番に向けて準備作業を進めるスタッフら



自閉症をはじめとする発達障害について正しい知識の普及や理解の促進を図る「世界自閉症啓発デー本宮」は3月30日から4月8日まで、本宮市のえぼかで開かれる。関係者らが準備作業を進めている。自閉症の子どもがいる保護者や地元ボランティア有志らでつくる実行委の主催、福島民友新聞社などの後援。

4月2日までは同所でワークショップが行われ、青い折り紙や紙などにメッセージを書いたり絵を描き、高さ約3メートルの木に飾り付ける。2日から8日までは完成したツリーを展示する。

国連が定めた4月2日の「世界自閉症啓発デー」に合わせて昨年が続いて実施。同実行委によると、青色は癒やしや希望を表す色。世界各地で同様に青色のライトアップが展開される。

期間中はポケットティッシュなどを配布して自閉症について啓発するほか会場ではパネル展示なども行う。オープニングセレモニーは2日は午前10時から。

精神・知的障害者も採用試験の対象に 神奈川県 岩堀滋 朝日新聞 2018年2月17日

神奈川県の黒岩祐治知事は16日の県議会で、従来の身体障害者に加え、新たに精神・知的障害者も県職員採用試験の対象にすると表明した。新年度から精神障害者の雇用が法律で義務化されるのを受けた措置。県内の民間企業全体で見ると、障害者雇用が法律で定められた水準に達していないため、県が障害者雇用に積極的な姿勢を示す意味もある。

採用数や選考方法など、具体的な内容はこれから詰める。加えて黒岩知事は、この採用ルートとは別に、精神・知的障害者を県の非常勤職員として雇用し、事務補助や軽作業にあたってもらう取り組みの将来的な導入に前向きな姿勢も示した。雇用後に民間企業への就労につなげるのがねらいだ。県人事課によると、「チャレンジオフィス」などの名称で東京都と千葉県がすでに取り組んでおり、参考にしたという。

県は民間企業への働きかけも強化する。障害者の法定雇用率は、従業員50人以上の民間企業の場合、従業員数の2.0%以上と障害者雇用促進法で定められている。厚生労働省神奈川労働局によると、2017年6月1日現在の県内民間企業の法定雇用率は平均1.92%。6年連続で過去最高を記録してはいるが、まだ2.0%に達していない。

婦人相談員の手当増額へ＝DV被害など対応強化－厚労省 時事通信 2018年2月17日

厚生労働省は2018年度、ドメスティックバイオレンス（DV）やストーカー被害など女性の抱える問題に対応する「婦人相談員」の手当を増額する。最大月額を約4万円引き上げ、19万1800円にする。相談が増えて内容も多様化する中で、職員の待遇を手厚くして女性の自立に向けた支援を強化する。

婦人相談員は都道府県の婦人相談所や市の福祉事務所などに配属。DVや離婚問題などについて、直接あるいは電話で相談を受け、施設での一時保護につなげるほか、警察や医療機関などと連携して問題解決に当たる。

婦人相談所が15年度に受け付けた相談件数は23万件余り。自治体に寄せられる相談は増加傾向にあるという。配偶者から暴力を受けただけでなく、過去に別の親族や知人から虐待を受けていたケースや、本人が障害や病気を抱えているなど、複数の問題が重なる難しい事例も目立つ。相談員には高度な対応能力に加え、生活保護や児童扶養手当など各種支援制度の幅広い知識も求められる。

相談員の手当は、国と自治体で半分ずつ負担。17年度は、それまでの最大月額10万6800円を、同14万9300円に引き上げており、2年連続で大幅に増額する。手当を増やすのは、対応技術などを磨く研修を受けた人が対象で、自治体によっては、独自でさらに上乘せるケースもある。

終末期医療の指示書、危険性警告 大阪で討論会

京都新聞 2018年2月17日

京都市が配布した終末期の「事前指示書」は命の切り捨てにつながると訴える討論会（大阪市港区）



京都市が終活リーフレットとともに配布した「終末期医療の事前指示書」の回収を求めている「尊厳死法いらない連絡会」（大阪市北区）などが17日、討論会「終末期医療に関する『事前指示書』には危険がいっぱい！」を大阪市港区で開いた。

京都市が昨年春配布した「事前指示書」は、終末期を迎えた場合に人工呼吸器や胃ろうによる栄養補給などを希望するかしないかを選択させる内容。

討論会では、「医療の切り捨てにつながる」「事前指示書で終末期を迎える場所を自宅、心臓マッサージを希望しないと書いた場合、救急車は来てくれるのか」などを問う公開質問状や、昨年11月に京都市と交渉した際に市側が「事前指示書に法的拘束力はなく、医学的な検討はしない」と答えたことが報告された。

同会の冠木克彦弁護士は「京都市の事前指示書によって、救急車が病院搬送しないなど救急現場に混乱を招く。肺炎は抗生剤で回復するのに使わない選択をさせるなど、治療の早期打ち切りが進められていく」と批判。今後も連携して回収を求めていくとした。

障害者の当事者団体「日本自立生活センター」（J C I L、京都市南区）代表で、車椅子を使う矢吹文敏さん（73）は「あまりに政治的、経済的に死が語られていないか。わたしたち生きている障害者の尊厳を守らずに、健常者が尊厳死を語るのをおかしい」と訴えた。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

